

堺 アルフォンス・ミュシャ館 特別展「ミュシャと夢二 STYLE of BEAUTY」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、特別展「ミュシャと夢二 STYLE of BEAUTY」を以下のとおり開催します。

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）と大正浪漫を体現させた竹久夢二（1884-1934）。ふたりの作品を象徴する「女性像」に光を当て、比較しながらそれぞれの美の表現に迫る展覧会です。

優雅に自然と融け合う「ミュシャ・スタイル」の女性像と、日常の瞬間をみずみずしく捉えた「夢二式美人」の女性像は、市井の人々に愛され続け、現代でもその人気は揺らぎのないものになっています。

夢二郷土美術館特別出品により実現したかつてない共演をご堪能ください。



1 特別展概要

展覧会名	特別展「ミュシャと夢二 STYLE of BEAUTY」
日時	令和 7 年 8 月 23 日（土）～令和 7 年 11 月 30 日（日） 午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日	月曜日、休日の翌平日 ※詳細は、別紙をご覧ください。
場所	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） （堺市堺区田出井町 1-2-200 ベルマージュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線「堺市」駅
観覧料	一般 900 円（720 円）、高校・大学生 550 円（440 円）、小・中学生 150 円（120 円） *（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金 * 特別展のため、従来の観覧料の金額と異なります。

※見どころや展示構成、関連イベントなどの詳細は、別紙をご覧ください。

2 アルフォンス・ミュシャ

- ・19 世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。
- ・ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。
- ・1900 年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。

3 堺市とミュシャの関係

- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約520点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）の収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。
- ・コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。
- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。
- ・また、堺で生まれ育った情熱の歌人 与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。



アルフォンス・ミュシャ
 《シャンパン・ホワイトスター：モエ・エ・シャンドン》
 1899年リトグラフ、紙
 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市）蔵

問 い 合 わ せ 先	（企画展に関すること） 担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興に関すること） 担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174



特別展
堺 アルフォンス・ミュシャ館
×
夢二郷土美術館

ミュシャと夢二

STYLE of BEAUTY

2025年8月23日（土）－ 11月30日（日）

アール・ヌーヴォーと大正浪漫が
響き合うかつてない競演

- 〔 みどころ 〕
- ①かつてない「ミュシャと夢二」のふたり展！
数多くの肉筆画など随一の夢二作品のコレクションを誇る夢二郷土美術館の特別協力を得て実現した、かつてない規模でのふたり展となります。
 - ②しぐさの美「夢二式美人」とポーズの美「ミュシャ・スタイル」
「日常のしぐさの美」と「理想のポーズの美」をキーワードに、ふたりの女性像を比較。ふたりの作品を同じ空間で見比べることで、それぞれの特徴が浮かび上がります。
 - ③キレイ！カワイイ！があふれだすふたりのデザイン！
グラフィック・デザイナーの先駆者としても活躍したふたりの多彩なデザイン業を紹介します。

展覧会名 特別展「ミュシャと夢二 STYLE of BEAUTY」

会期 2025年8月23日（土）から11月30日（日）まで

会場 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

開館時間 午前9時30分から午後5時15分（入館は午後4時30分まで）

休館日 月曜日、休日の翌日（9月16日・9月24日・10月14日・11月4日・11月25日）
*ただし、9月15日・9月22日・9月23日・10月13日・11月3日・11月24日は開館

観覧料 一般900円(720円)、高校・大学生550円(440円)、小・中学生150円(120円)
*()は20人以上100人未満の団体料金

主催 公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館

後援 在堺チェコ共和国名誉領事館 / 堺市教育委員会

特別協力 公益財団法人両備文化振興財団 夢二郷土美術館

協力 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 / OGATAコレクション

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



概要

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）と大正浪漫を体現させた竹久夢二（1884-1934）。ふたりの作品を象徴する「女性像」に光をあて、比較しながらそれぞれの美の表現にせまる展覧会です。優雅に自然と融け合う「ミュシャ・スタイル」の女性像と、日常の瞬間をみずみずしく捉えた「夢二式美人」の女性像は、市井の人々に愛され続け、現代でもその人気は揺らぎのないものになっています。展示室内では、ふたりの美のスタイルの特徴がそれぞれに浮かびあがるとともに、どこか響きあうことを感じ取っていただけることでしょう。夢二郷土美術館特別出品により実現したかつてない共演をご堪能ください。

展示構成

STYLE of BEAUTY—流行になった新しい美しさ

「ミュシャ・スタイル」「夢二式美人」と称され、時代をとらえ、新しい表現として人々を魅了したふたりの作品を紹介します。なかでも似ているポーズ、題材、モチーフを描いた作品を並べることで見えてくる、それぞれ独自のスタイルの特徴とともにふたりの共通性に注目します。

STYLE of BEAUTY—ふたりが見つけた美の視点

ふたりの女性像を、「日常」と「理想」という2つのキーワードで読み解き、女性の姿に込めたふたりの美のポイントを探ります。何気ないしぐさの中に美を見つけた夢二と洗練されたポーズで魅せるミュシャの美の視点に注目です。

STYLE of BEAUTY—美しいもの 可愛いもの 不思議なもの

グラフィック・デザイナーの先駆者として活躍したふたりのデザイン業を紹介。夢二が開店した日用品店「港屋絵草紙店」のキャッチコピーにちなみ、「美しくて可愛くて不思議」な作品の数々をめぐるります。

STYLE of BEAUTY—郷愁と希望、美しきふるさとへの想い

ミュシャの祖国・チェコと夢二の故郷・岡山を題材にした作品から、チェコの少女、岡山の母と姉という比較も交え、それぞれのスタイルのルーツとも言える、ふたりのふるさとへの想いにせまります。

トピック
展示

1900年パリ万国博覧会でミュシャが手掛けたボスニア・ヘルツェゴヴィナ館の壁画。その貴重な下絵2点（1402×3160・1390×1999）とタペストリーを組み合わせ再現実します。さらにオーストリア館に展示された彫像《ラ・ナチュール》、幻のパヴィリオン、人類館構想時に制作されたとされる彫像《岩に座る裸婦》も合わせて公開します。



《1900年パリ万国博覧会 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館壁画〈下絵〉》1899-1900年 墨、紙

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116

E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶



トーク
イベント

【1】両館学芸員によるスライドトーク

夢二郷土美術館学芸員と当館本展企画学芸員が、
ミュシャと夢二の魅力について語ります。

講 師：井土真菜（夢二郷土美術館学芸員）、原田悠里（企画担当学芸員）

日 時：2025年9月21日（日）14：00～（90分程度）

定 員：60名（申込不要・当日先着順）

対 象：どなたでも

参加費：無料 *イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



【2】講演会「Muchaの故郷チェコ♡美しい楽しいチェコバナシ」

堺在住のチェコ人スザンカさんによる楽しいチェコ文化のお話です。

講 師：スザンカ・ハニヴァロヴァー

日 時：2025年9月23日（火・祝）14：00～（90分程度）

定 員：60名（申込不要・当日先着順）

対 象：どなたでも

参加費：無料 *イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



【3】みてくらべてミュシャと夢二、初めてのびじゅツアー

こども向けの展示解説ツアーです。

中学生以下の参加者には重ね押しで絵が完成するスタンプラリー用紙をプレゼント。

日 時：①10月18日（土）②11月23日（日）各日14：00～（30分程度）

場 所：展示室内にて（申込不要）

参加費：無料 *イベントの参加には、参加当日の観覧券が必要です。

ワーク
ショップ

【1】学芸員のお仕事体験！～解説を考えてみよう～

ミュシャと夢二の作品から気になる作品を1つずつ選んで、自分なりの解説を作ります。
完成した解説はその場でパネルにして展示されるかも！？

日 時：2025年8月24日（日）13：30～（2時間程度）

定 員：6名（申込先着順、受付開始7月26日（土）9：30～）

対 象：小学校3年生～中学3年生

参加費：無料 *イベントの参加には、参加当日の観覧券が必要です。

【2】てづくり青写真でオリジナルカードをつくろう

ミュシャや夢二のモチーフを組み合わせてコラージュして焼きつけると、
青色のオリジナル写真ができあがります。

講 師：若林久未来（古典写真作家）

日 時：①9月14日（日）②10月4日（土）各日11：00～、14：00～（2時間程度）

定 員：各回10名（申込先着順、受付開始①8月9日（土）②8月30日（土）各日9：30～）

対 象：小学生以上

参加費：1,500円（材料費）

*イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



Artistic photogram®登録6727402

【3】ばれんで刷り刷りミュシャと夢二のモチーフ封筒づくり

ミュシャと夢二のワンポイントモチーフを、ミュシャは石版（リトグラフ）
夢二は木版技法を用いて封筒に刷ります。

（版は製版しています。刷り体験をお楽しみください。）

日 時：①8月30日（土）②9月28日（日）③10月12日（日）④11月16日（日）
各日13：30～15：00（随時ご案内）

対 象：どなたでも

参加費：500円（材料費）

*イベントの参加には、本展会期中の観覧券（半券可）の提示が必要です。



※その他追加イベントについては当館HPをご確認ください。

※イベント申込方法など、詳細については当館HPをご確認ください。

※ホームページは随時更新します。

お問合せ

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：川口、藤本
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116

E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com> HP▶

